



伊勢原市 老連だより



新生活様式の中で 新たな事業展開の構築

伊勢原市老人クラブ連合会
会長 森 武

私は、今年度から伊勢原市老人クラブ連合会会長に選任された森武でございます。新たに選出された三役を始め、理事・各種委員会の委員の皆様方、事務局のご支援を頂きながら、会の運営に精一杯取り組んでまいります。会員の皆様には変わらぬご支援ご協力のほどをお願い申し上げます。

今日、新型コロナウイルス発生という未曾有の事態に遭遇し、感染防止対策の観点から、3月より入湯会の中止を始めとし、各種事業を停止せざるを得ない状況となっております。

また、緊急事態宣言が解除されたとはいえ、第二波が到来したのではないかと思われる感染者の拡大傾向が全国的にみられ、県内及び本市でも増加しています。こうした事態に対し、三密（密集、密接、密閉）回避を含めた新生活様式が求められております。

私たちは、人が集まり、コミュニケーションを図り健康長寿を標

榜し、相互扶助で支え合い共に充実した楽しい老後を過ごすことを目指して事業展開を進めてまいりましたが、この活動が制約を受け苦慮すると共に、特に会員の健康精神的なダメージに憂慮しつつ早い収束を願っております。

今年度の事業方針は、会員増強、友愛活動の強化、健康長寿関連事業の再構築とさせていただきますが、これらの方針は市老連が抱えている大きな課題であり、地道に継続して活動することが重要と考え策定したものであります。

特に会員増強については、当会の存続に關係する重要案件で、現況下で少ない接触の機会を捉えて会員獲得に向けた活動が必要と考えます。今後は、現行の事業を再点検し新生活様式に沿った新たな事業展開を構築してまいります。

また、行政当局にも、老人クラブの存在が社会全体に有意義なものであることを再認識していただき、会員増強に力を貸して頂だけ

るような活動を展開してまいります。会員各位の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

コロナ感染症にはお互い感染しない・させないを念頭に、日常の生活に十分注意し次のステップに向け共に頑張つて行きましょう。

退任の挨拶

前市老連会長 守屋 昭



市老連会長 職の任期中、会員の皆様にご協力とご支援を賜りありがとうございました。

コロナウイルスの關係で皆様へ挨拶する機会が遅くなりました事おわび申し上げます。

「在任中」運動方針に、健康・友愛・奉仕の三本柱を基本に各地区の会長さんはじめ役員のお力を借りて計画通りに成果を上げる事が出来ました事、厚くお礼を申し上げます。現市老連の会長さんはじめ役員の皆様には今後、共に力を合せ市老連の益々の発展を、心より願っております。

最後に皆様のご健康をお祈りして挨拶と致します。

フォトニュース

賀詞交歓会

1月22日、市内のフォーラム24で、日頃老人福祉のために、ご尽力いただいている市長さんはじめ関係各位、各地区自治会長代表さんにご出席をお願いし、総勢91名で新年の賀詞を交歓しました。



市長さんはじめ、ご来賓の方々のご祝辞や激励のお言葉の後、歓談に入り、皆さん熱心に語っておられました。

現在老人クラブは地域の有力な支え合い手になつており、新たな老人クラブの誕生や会員の増強はますます必要となつていきます。そのためには各地区自治会長さんの方々の協力が必要であり、各地区自治会代表さんとの懇談は今後の老人クラブの活性化に大いに役立つものと期待できます。

懇談で大いに盛り上がった会も、最後に抽選会を行い、盛會裏にすべて終了しました。

第4回地区対抗カラオケ大会

2月15日、会員相互の親睦を兼ねた第4回地区対抗カラオケ大会が大山の阿夫利荘で開催されました。

各地区代表の60人が、入湯会などで鍛えた自慢の歌を熱唱、多くの各地区応援者の声援とが融合し、素晴らしいイベントになりました。

参加人員は、会場があふれんばかりの23人でした。

(団体の部)

優勝 成瀬地区

準優勝 比々多地区

第3位 伊勢原地区

(個人の部)

優勝 庄司妙子 (石田長寿会)

準優勝 森 邦子 (北高森長寿会)

第3位 鈴木正男 (大住台養生クラブ)

令和元年度

趣味の教室全体発表会

令和2年1月11日、大山の阿夫利荘にて、一年間趣味の教室として研鑽を積まれたフラダンス・カラオケ・詩吟・民謡・レクダンス・茶道の実技披露と書道・陶芸・絵手紙の作品展示がありました。発表者、来場者合わせて300名を超え盛況のうちに終わりました。



市老連会長表彰受賞者

単位クラブ表彰 (1クラブ)

栗窪長寿会

功労表彰者 (6名) 敬称略

小林 忠雄 伊勢原第一友和会

鈴木 政光 大句老人クラブ

秋山 英子 日向第一むつみ会

星野 武夫 三ノ宮老盛会

杉崎 徳雄 串橋長命会

佐々木 長 高森台長寿会

功績表彰者 (35名)

氏松 圭子 大竹青心会

水嶋 正男 大竹青心会

三宅 卓 大竹青心会

小林千代子 伊勢原第一友和会

高橋 久子 伊勢原第一友和会

石井 君子 大原町寿会

大谷 信次 大原町寿会

長屋 律子 大原町寿会

近藤 俊二 駅前第一三親会

福田 マサ 田中長寿会

山野富代子 八幡台スマイルクラブ

吉川宇兎子 大句老人クラブ

中丸 節子 大句老人クラブ

馬場 淑子 大句老人クラブ

大津 幸子 子易長寿会

大津 茂 子易長寿会

細野 光子 申橋長命会

五十嵐辰己 前高森長寿会

高橋 絹江 栗窪長寿会

新役員紹介



副会長
石澤 澤一
白根長生会



副会長
伊藤 徳雄
西沼目友愛の会



会計
朝田美奇夫
伊勢原第二老人クラブ

よろしくお願い致します。

武田富美子 シルバーサロン・ナルセ
石井 道子 原之宿長寿会
清水 一郎 西沼目友愛の会
真野 綾夫 西沼目友愛の会
新倉 年子 大田第一寿楽会
渡邊 京子 大田第一寿楽会
青木 邦夫 東沼目東悠会
青木 玉恵 東沼目東悠会
青木 長久 東沼目東悠会
飯島 是光 東沼目東悠会
石井 成子 東沼目東悠会
熊澤 俊彦 東沼目東悠会
佐藤 辰巳 東沼目東悠会
鈴木チヨ子 東沼目東悠会
手川 忠夫 東沼目東悠会
二見富士枝 東沼目東悠会

クラブだより

高森台長寿会

三浦美代子



高森台長寿会は、昭和49年度に発足しました。今では会員数が49名、発足時には、大勢の方が加入されていましたが、現在は会員減という状況です。この現況を少しでも改善したく、昭和61年度から始めた住み良い環境の高森台を指して月2回の「小さな奉仕」として、公園4ヶ所の草刈、剪定、清掃を主として、公園美化に務めています。作業の後には準備していた飲み物で、参加者と談笑し助け合いの輪で、明るく和みます。

子供会では、夏休み行事のお神輿組立て、子供達に声を掛け合っで巡行。クリスマスにはサンタ役等、長寿会としての役割を大切に維持しています。

私達の活動方針は、何をしなければならぬではなく、明るく、楽しく、和やかにをモットーに、児童館を拠点とし、仲間とゲートボールは環境に恵まれている場所での練習をし、休憩を交えてハーモニカの伴奏で合唱して元気のエネルギーを貰っています。同様にグラウンドゴルフ、カラオケ等健康寿命と仲間の輪が広がり、日々生活が明るくふれ合いの場となっています。

市老連主催のバス旅行では、他の地区会員との交流も、良い思い出です。次はどこへ行けるかが楽しみのひとつになっています。

更なる楽しみは、3ヶ月に一度の阿夫利荘入湯会です。普段阿夫利荘までは遠いため、この会は送迎バスなので、すっかりバス旅行気分です。恒例の大正琴を聞いたり、カラオケ、ダンス等、気の合う仲間と多少のアルコールや昼食、打ち解け合って、思いのまま皆んな良い気分です。これからも笑顔で地域との輪を共感し、明るく仲間と共にいつまでも長寿会が長く続く様、一人でも多くの人に入っていただきたいと、心から願っています。

寄稿詩

シルバライフよ こんにちは



原之宿長寿会
磯部砂恵子

一、シルバライフよ

こんにちは

早寝早起き モットーに

勤労奉仕に ボランティア

余暇には わずかな趣味もって

ちよつと昼寝も おつなもの

大正 昭和 生き抜いて

平成 令和 がんばって

*年寄の冷や水と 言われても

口うるさいネと 言われても

若者なんかには 負けられない

二、シルバライフよ

こんにちは

老いた体に ムチ打って

歩こう歩こう 一万歩

栄養バランス 腹八分

残り少ない人生を

夫婦で互いに 助け合い

大正 昭和 生き抜いて

平成 令和 がんばって

*わずかな年金 つみ取られ

悪質商法 えさにされ

今の世の中 不安だけ

いつになったら 住みやすい

それまで待つちゃ いられない

いられない

*は繰り返す。

コロナ下でも活動を

市老連では3月から会長会議や入湯会など活動が停止、すでに6ヶ月を経過しています。

皆様、ステイホームで外出自粛

その努力も少し疲れてきてはいま

せんか。

市老連では今は単位クラブの小

さなグループ活動を勧めています。

たとえば①少人数での手芸

②早期のグラウンドゴルフの練習

③屋外の清掃美化活動

④少人数での地域探訪

⑤散歩ダービー(歩数を記録)等

年齢を重ねることで生じやすい

フレイル(虚弱)を予防する為に

三密を避け、バランスのとれた食事と適度の運動を、地域や各クラブに合った活動を積極的にとり入れて下さい。各クラブのアイデアを参考に、情報を事務局まで。

相続税は？



原之宿長寿会

阿部賢一郎

前回、平成30年初夏号に投稿した際は、「遺言は両刃の剣」と題して皆様に読んでいただいたのですが、今回は「相続税問題」を取り上げました。

というのも、相続問題の只中にいる者として、避けて通れない問題であるからです。ご存知のように、相続税は路線価によって評価されます。路線価は、8月上旬頃に国税庁から発表されます。大体の相続税評価は、路線価格に面積を掛ければおおよその税額は分ります。しかし土地には整形地ばかりでなく、土地の形はいろいろであり評価には減額評価があり、専門家に見てもらわなければならない場合があります。しかしながら顧問の税理士の先生方は、ほとんどが法人税の専門家であり相続税に弱い方が多く、土地の評価が出来ない為に、相続人に多大な相続税を課しているのが多いように見受けられます。私の関係した相続人で、平

塚税務署管内だけでも約20件ほどの還付申請をいたしました。

しかも、この還付申請は提出後5年以内なら「時効」内であり、再調査の上適正な相続税を出して、余分な税金を還付してもらうことが出来ます。

要するに最初から適正な税額を出して支払えばよいのですが、後からでも還付申請が出来ますので安心です。固定資産税においても同様です。役所で賦課課税してくれるからといって正しい評価とは限りません。一昨年に伊勢原市において、高森台団地において、ベランダまでが建物評価されておられ、20年分の過大な税金と金利を含み還付したことが、テレビ東京・池上彰氏の番組で放映されました。人のやる仕事であり、間違えることは仕方ありませんが、正すことは正すべきでありましょう。要は正しい適正な評価であれば良いのであって、余分な税金はまっぴらごめんです。資産税は、身近な問題であり適正な評価にしたいものです。皆様の中で評価に不審なところがありましたら、ご相談下さい。以上、どうしても伝えなければと、心中からの提言です。

これからの行事予定

- 10月 新任会長研修会
- 11月 老人福祉大学
- 1月 賀詞交歓会
- 2月 カラオケ大会

新型コロナウイルスの感染の動向により中止もありえます。

原稿・写真募集

《原稿》

1行15字、60行以内
内容は自由ですが、会員が読んで役立つもの、楽しいものを歓迎します。口頃の生活での経験・情報・地域の歴史や紀行文・市老連行事の参加感想など、顔写真を添えて下さい。編集部で原稿の修正等を行う場合があります。

《写真》

季節感のある風景・植物
※人物は不可
写真は2L版以上で横向きで、裏面に所属クラブ・タイトル・場所・撮影者名を記入して下さい。
応募先

〒259-1107 伊勢原市大山1-9-4
阿夫利荘内

老連だより編集部へ

●新編集委員

- 委員長 島田昭義 大山
- 委員 八木正夫 伊勢原
- 北山一夫 伊勢原
- 菅原秀人 高部屋
- 塚田英行 比々多
- 中山浦子 成瀬
- 新田孝之 大田

◎親しめる紙面づくりを目指します。すのでよろしくお願い致します。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大、梅雨期の長雨・高温多湿による熱中症と高齢者には厳しい日々の中、市老連だより159号を発行出来ました。感染がいつ収束するのか、今はただ、三密を避け、手洗い・マスクで予防し、皆様と老連の諸活動で再会出来るまで、がんばろう。

伊勢原市老連だより

令和2年(2020)秋季号
令和2年10月1日 通巻159号

発行 伊勢原市老人クラブ連合会
事務局 伊勢原市老人福祉センター
阿夫利荘内
電話 0463(93)1006
FAX 0463(93)0505
メール afurisou@wind.ocn.ne.jp
編集 伊勢原市老連だより
編集委員会
森 武
発行人